

# 和木町 学校施設長寿命化計画

## — 概要版 —

### 学校施設設計画とは…

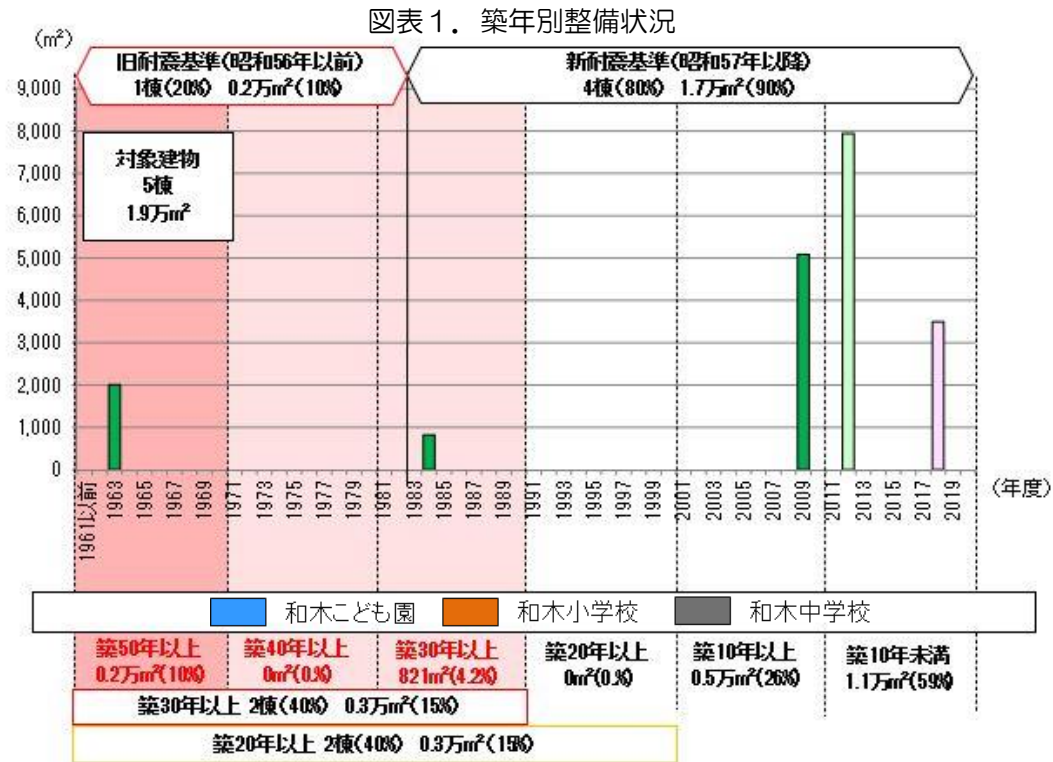
和木町公共施設等総合管理計画を上位計画とした学校施設の個別計画として位置づけられるものです。長期的な視点をもって、建替え、長寿命化等を計画的に行う指針を示す計画として、学校施設の総量最適化や、維持管理費用や更新費用等を踏まえたライフサイクルコストの縮減、財政負担の軽減・平準化につなげることを目的としています。

本編 P2～

### 計画の対象施設

本計画の対象施設は、本町の所有する学校施設のうち、200㎡以上の建物としています。

	施設数	棟数	延床面積 (㎡)
合計	3	5	19,352



和木こども園



和木小学校



和木中学校

## 学校施設の評価

## ■健全度の判定

対象施設の劣化状況を、図表 2 の 4 段階（ABCD）で評価後、計算式を用いて 100 点満点で数値化します。

図表 2. 評価基準

評価	基準	評価	基準
屋根・屋上、外壁の評価基準		内部仕上げ、電気設備、機械設備の評価基準	
A	概ね良好	A	20 年未満
B	部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）	B	20～40 年未満
C	広範囲劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）	C	40 年以上
D	早急対応する必要がある （安全上、機能上、問題あり） （躯体の耐久性に影響を与えている） （設備が故障し施設運営に支障を与えている）等	D	経過年数に関わらず著しい事象がある場合

図表 3. 施設情報と評価まとめ

施設名	建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数 (年)	劣化状況					健全度
							屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備	
和木こども園	園舎	鉄筋 コンクリート	2	3,495	平成 30	1	A	A	A	A	A	100
和木小学校	校舎	鉄筋 コンクリート	3	7,940	平成 24	7	B	B	B	B	B	75
和木中学校	校舎	鉄筋 コンクリート	3	5,087	平成 21	10	B	B	B	B	B	75
	特別教室	鉄筋 コンクリート	4	821	昭和 59	35	C	C	C	C	C	40
	体育館	鉄筋 コンクリート	2	2,009	昭和 38	56	C	C	C	C	C	40

## ■構造躯体以外の評価

構造躯体以外（屋根・屋上、外壁、内部仕上げ、電気設備・機械設備）の劣化状況については、築年数が 30 年未満の施設は「B 評価（部分的に劣化）」以上で、緊急的な改修を必要としない状況でした。

しかし、築年数が 30 年以上の施設は屋根・屋上や外壁に「C 評価（広範囲に劣化）」が見られる箇所があります。特別教室棟は築 35 年、体育館は築 56 年が経過していることから、屋根・屋上、外壁等の各部位の全面的な改修を実施する必要があると考えられます。

## ■総評

今後も長寿命化等を行いながら、適切な施設マネジメントのもと、維持管理を行う必要があります。構造躯体以外については、一部の学校施設で C 評価があるため、今後も随時劣化状況を把握し、計画的に改修を行うことが必要です。

## 学校施設のめざすべき姿

### 安心・安全な教育環境の整備・充実

#### ■防災

学校施設は災害時の避難場所として機能します。

そのため、台風・地震などの災害に強く、防災機能を備えた学校施設を目指します。

#### ■点検・整備

校舎や体育館の点検・整備の充実を図り、学校生活における事故防止を図ります。

### 学習・生活面の教育環境の整備・充実

#### ■生涯学習施設の整備・充実

将来を担う児童生徒の人材育成及び学力・情報活用能力等の向上を図るため、ICT 機器を設備することで、児童生徒の興味関心を引き出し、学ぶ意欲を高める授業環境を整えます。

#### ■教育環境の整備

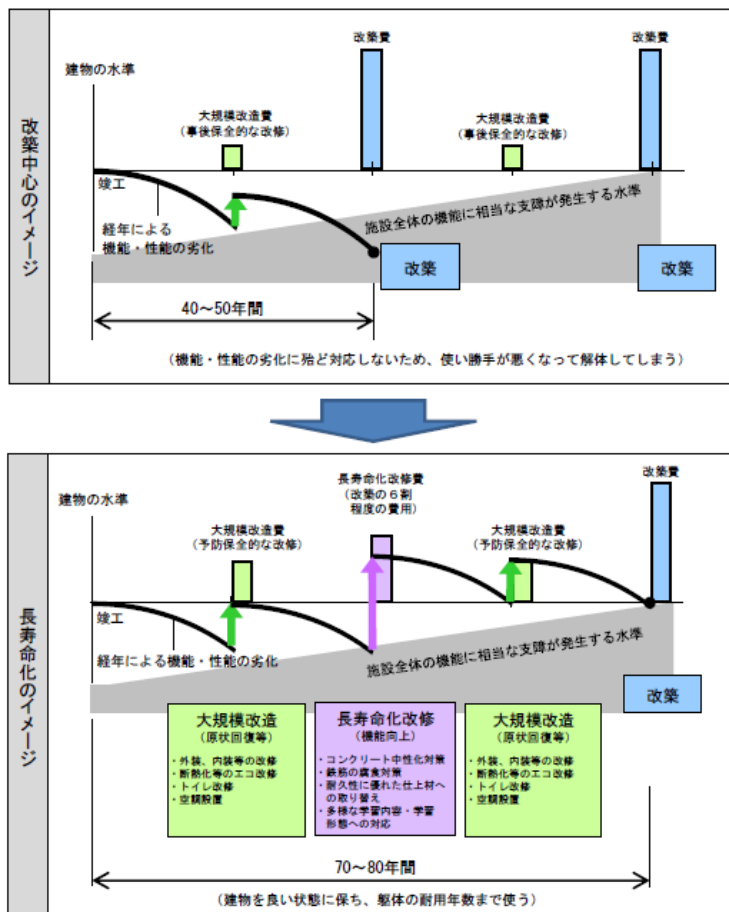
児童生徒の健康を守るための冷暖房施設の完備のほか、学習能率向上に寄与する快適な学習環境を整えます。

## 学校施設整備の目標

鉄筋コンクリート造は、従来の維持管理では、老朽化の進行に伴い、建築後およそ 40 年程度で建替えが行われてきましたが、適切な維持管理がなされコンクリートおよび鉄筋の強度が確保されている場合は、100 年以上使用することも可能です。

本計画では、「建築物の耐久計画に関する考え方（日本建築学会）」を参考に、目標使用年数を 80 年と設定し、大規模改造の周期を 20 年、60 年、長寿命化改修の周期を 40 年とします。（図 3）

図表 4. 従来型の維持管理から長寿命化への転換イメージ



## 長寿命化によるコスト試算の比較と検証

従来型の建替え中心での更新では、機能や性能の劣化に殆ど対応しないため、使い勝手が悪くなって解体するパターンが多く、多額の出費を要していました。長寿命化と従来型のコストを比較することで長寿命化の実効性を検証します。

図 5. 長寿命化型の将来更新費用推計

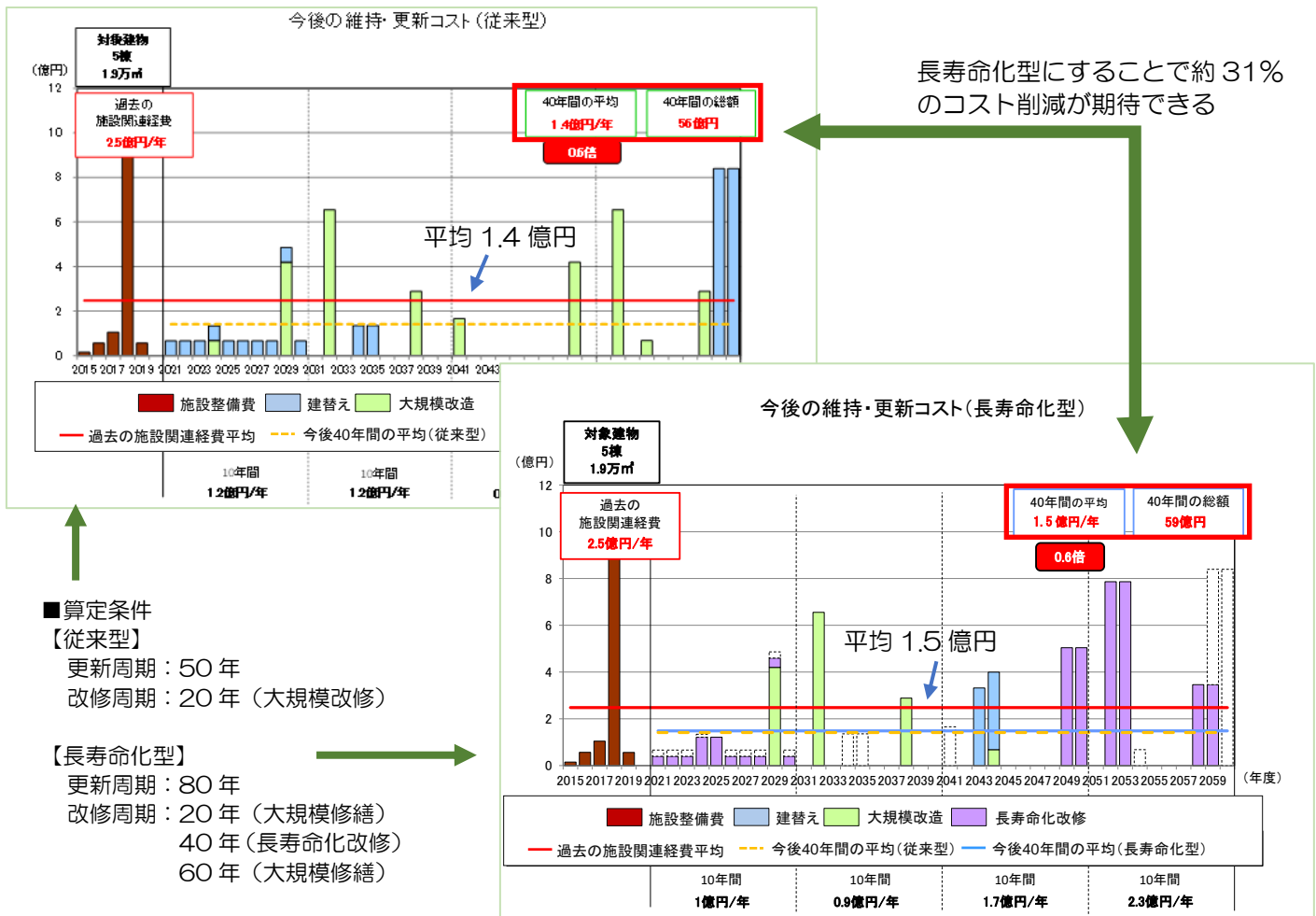


図 6. 長寿命化型の将来更新費用推計

## フォローアップ

本計画は、学校施設の改修や建替えの優先順位を設定するものであり、「和木町公共施設等総合管理計画」や町全体の財政計画のなかで、年間の施設にかかる事業費を精査していきます。

PDCA サイクル (Plan:全体計画 Do:実施 Check:評価・分析 Action:見直し) によるフォローアップを実施し、事業の進捗状況、定期的な点検、社会的状況を踏まえた上で10年ごとに見直しを行います。

## 和木町 学校施設長寿命化計画 (概要版) 令和3年3月

和木町 教育委員会事務局

〒740-0061 玖珂郡和木町和木2丁目1番1号

TEL: 0827-53-3123